

# 年間納税額

TAXI タクシー1台当たりの年間納税額

タクシーLPG使用車両の場合の負担税額

普通車 **663,552円**

令和7年4月1日現在 東タク協資料から抜粋  
 (注)①車両価格のベースはトヨタ ジャパンタクシー  
 ②消費税各欄に用いる原価構成比は令和5年度の  
 数値を使用(関東運輸局調べ)  
 ③消費税率は10%で計算

項目	税額	算出の基礎
石油ガス税	51,261円	税 額 = 1ℓ 9円80銭 年間走行 = 87,876km (1日244.1km) 保持キロ = 1ℓ 16.8km
石油石炭税	5,448円	税 額 = 1t 1,860円 年間使用量 = 5,231ℓ
国 税	普通車 71,852円	車両価格3,592,600円の10/100 = 359,260円 ÷ 5年
	燃料油脂費 83,293円	令和5年度 実働1日1車当たり運送収入61,686円の3.7/100 = 2,282円 × 365日 × 10/100
	車両修繕費 33,763円	令和5年度 実働1日1車当たり運送収入61,686円の1.5/100 = 925円 × 365日 × 10/100
	営業外費 11,242円	令和5年度 実働1日1車当たり運送収入61,686円の0.5/100 = 308円 × 365日 × 10/100
	その他経費 376,023円	令和5年度 実働1日1車当たり運送収入61,686円の16.7/100 = 10,302円 × 365日 × 10/100
自動車重量税	7,800円	0.5t 当たり2,600円

地 方 税	自動車税 環境性能割	普通車 14,370円	車両価格3,592,600円の2/100 = 71,852円 ÷ 5年 自動車取得税廃止に伴い令和元年10月1日より課税
	自動車税 (種別割)	8,500円	(営業用) 1ℓ超~1.5ℓ以下 昭和59年4月1日より課税

# 環境に優しいタクシー

温室効果ガス排出量の削減に努力しています

## ハイヤー・タクシー業界の 低炭素社会実行計画

(自主的行動計画) 全タク連 平成27年5月25日

目標 2030年度目標値

2010年度比 **25%のCO2を削減**する。

具体的な計画

タクシー車両の環境対応車への切り替え

2030年度までに

↓  
 タクシー車両の40%を  
 HV車及びEV車等の  
 環境対応車への代替えを  
 進める。



LPGハイブリッドタクシー



プラグインハイブリッドタクシー

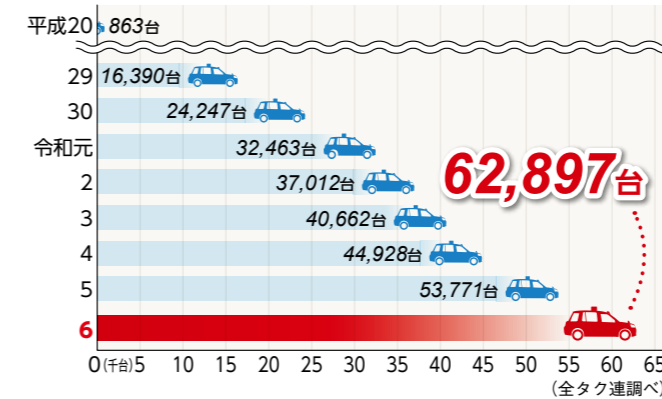


燃料電池車 (FCV) タクシー

### 全国で低燃費車両の導入が進んでいます

タクシーは従来から環境に優しいLPガスを燃料として使用してありますが、近年、ハイブリッド車等の環境対応車の導入が進んでいます。

### ●ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車、電気自動車、燃料電池車タクシーの合計台数(法人・年度末)



### グリーン経営(環境負荷の少ない事業運営)を推進しています

グリーン経営認証は、交通エコモ財団が認証機関となり、グリーン経営推進マニュアルに基づいて一定のレベル以上の取組を行っている事業者に対して、審査の上認証・登録を行うものです。令和7年12月末現在で284事業所が認証を取得しています。



## GXの取り組みについて

政府は、令和2年12月「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」を策定し、「遅くとも2030年代半ばまでに、乗用車新車販売で電動車100%を実現」が打ち出されました。さらに令和5年2月10日「GXに向けた基本方針」が策定され、「事業用のトラック・バス・タクシー等への次世代自動車(燃料電池自動車(FCV)、電気自動車(BEV)等)の普及促進」が掲げられたところです。

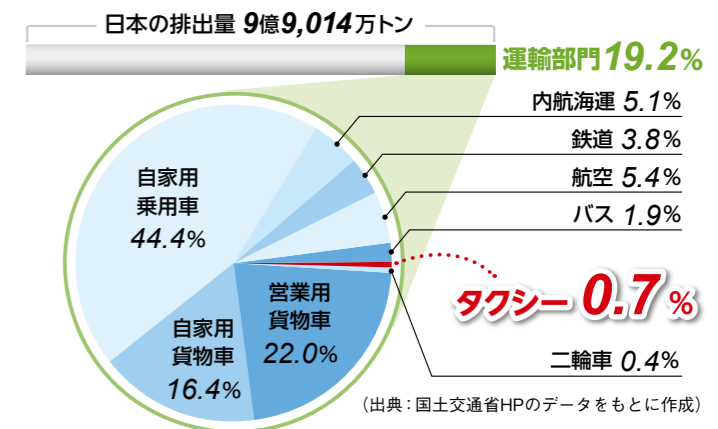
タクシー業界は、政府方針を踏まえ、カーボンニュートラル実現に向け、次世代自動車の導入等のGXの取り組みを積極的に推進します。



電気自動車 (BEV) タクシー



### ●運輸部門の運輸機関別 二酸化炭素排出量(令和5年度)



(出典:国土交通省HPのデータをもとに作成)